

## イースターの喜びを伝えよう！

### アメリカ・イースターバスケットキャンペーン



ニューヨークのメトロの教会学校では、毎年イースターにイエス様の復活のお話や関連するゲームで楽しんだあとに、イースターバスケットをプレゼントしています。カゴの中は、子どもの好きなお菓子やおもちゃがいっぱい詰まっています。

メトロのスタッフとボランティアの人々が、ひとつずつ心を込めてプレゼントを詰め、ラッピングをします。

子どもたちは、日曜学校で学んだイエス様の復活が、私たちにとっての希望と喜びのメッセージだということを、プレゼントを手にすることで実感できるのです。

ご支援くださる場合は、同封の申込用紙をご覧の上、ネットやお電話、FAXなど、ご都合の良い方法でお申し込みください。締め切りは3月10日(日)です。よろしくお願いいたします。

締切  
3月10日(日)

スマホでのお申込はこちらから⇒

PCからは、<https://metroworldchild.jp/easterbasket/>



### フィリピン現地視察ツアー決定 4月4日(木)～4月7日(日)

フィリピンは、コロナ禍の期間に非常に厳しい状況に陥りました。子どもたちは家から外出禁止。学校はリモート教育になり、学校にも日曜学校にも行けない日々が続きました。やむなく、海外から来ていたメトロのスタッフは、ほとんどが母国に帰国し、生活のため他の仕事に就く現地スタッフも出ました。

働きが制限される中でも子どもたちとの関わりを途絶えさせないように、リモートでの日曜学校を模索したり、家の外から窓越しで子どもたちに声をかけたり、家庭の様子を見たりという状況が続きました。

昨年ようやく本格的な働きができるようになった矢先、長年メトロの働きを担ってきた忠実なスタッフのひとりが、足の傷がもとで敗血症となり、昨年の秋に若くして天に召されてしまいました。スタッフは深い悲しみの中、多くの子どもたちを相手に、わずか3人で働きを続けることになりました。肉体的にも精神的につらい時期を通らされました。

その中でも地域へのアピールやスタッフ訓練を再開し、徐々に協力教会も増え、スタッフも6人にまで回復しました。しかし、子どもたちの人数や、スタッフ訓練の働き、協力教会を増やすための教会訪問、日曜学校やキャンプの準備などを考えると、まだまだ人数が足りないのが現状です。現地訪問や、インターンシップに参加してみませんか？ 現地訪問の詳細は次ページで。



### 常時スポンサー募集中！

お申し込みはこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



### 今月の引き落とし日！

2月27日(火)です。口座をご確認ください！

### 今月号の目次

P2…フィリピンツアーのご案内

P2～3…ビル・ウィルソン師より

P4…昨年のご報告とお礼

P5…ケニアの現状

P4…日本事務所からの重要なお知らせ

# フィリピンツアー開催！

昨年春、コロナ禍明けでようやく現地ツアーを開催することができました。今年も皆様からのお問合せもあり、4月にフィリピンツアーを再開することにいたしました。サポートしていただいている子どもたちに会うチャンスですし、現地の現状を知る貴重な機会です。

日程や予算は以下の通りです。参加人数などにより多少の変動があります。参加ご希望の方は、まずご一報ください。

## メトロ・フィリピン視察ツアーのご案内

**4月4日(木)～7日(日)開催！ 第二次募集は、一次より価格が高くなる可能性があります**

**第一次〆切2月29日(木)**

**第二次〆切3月15日(金)**

他の国より、日程的にも金額的にも大変参加しやすと思いますので、ぜひご検討ください。参加のご意向のある場合は、以下の内容をお知らせください。お申込用紙をお送りします。

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になると思います。国内便の接続によっては、7日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。航空便予約後のキャンセルはキャンセル料が発生します。

お申込はこちら→

または、下記アドレスから  
<https://x.gd/aT5MB>



お電話、メール、FAXでもお申込いただけます

### ツアー日程

4月4日(木)	日本出発(関東方面、時刻未定)
〃	マニラ着(現地時間、時刻未定)
4月5日(金)	メトロ・スタッフ・ミーティング参加
〃	子ども訪問または現地活動に同行
4月6日(土)	道端教会学校参加
4月7日(日)午前	礼拝参加
〃 午後	マニラ出発(現地時間、時刻未定)
〃 夜	日本着・解散(関東方面、時刻未定)

空き時間には、ご意向に合わせて観光や自由時間を入れる予定です。

- \* ツアー代金は、18万円前後、参加人数によって変動します。
- \* お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配が必要となります。
- \* 現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。
- \* ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、現地のスタッフが調整いたします。

## ビル師より

前回、私がクリスマス前にガザのメアリーに薬を届けるのが一日遅すぎたという話をしました。彼女は亡くなり、ボランティアのお母さんの墓の隣に埋葬されました。そのことに関して、私はまだ心の整理ができず、気持ちをうまく言い表すことはできませんが、仕方がありません。

去年のクリスマスイブの日にも、いつものように私が置き去りにされた街角に行き、ただ一人で長い間そこに座っていました。それから私は立ち上がって、歩き回りながら祈りました。

しかし今は、私は新年からのいつものスケジュールに戻り、日曜学校の開設を求めてきた新しい国々のための働きを開始しなければなりません。

まだ皆さんに新年のご挨拶をしていませんでした。明けましておめでとうございます。あまりにも遅いご挨拶になって申し訳ありません。

### 私の携行バッグ

昨日の夜、ようやく携行カバンの整理をしました。大きなスーツケースを持ち込めない場所に持っていくリュックです。現地で必要な物を入れていました。私はそれらを改めて眺めていました。一つ一つの背景にあるすべての思い出、そして今では私の人生の一部となったものです。

夜はとても寒かったので、ガザのスタッフに会うためにマフラーをしていました。帽子は、82空挺部隊が私にくれたもの。タグの1つは、ガザで私を警護してくれたイスラエル国防軍の兵士がくれたものです。彼らは皆、今もハマスに人質に取られている人々を忘れないように、とこれを着けています。

とても大切な小さなパスデーカード。スタッフが、世界中の子どもたちに私の人生の物語を伝えるために作ってくれた、小冊子。もちろん、大切な人を思い出させてくれる石もありま

# ビル師より



す。そしてもちろん、オレオクッキーの袋と膝当てがなければどこにも行けません。

メアリーに薬を渡す時にあげようと思っていたシールを、結局まだ手放すことができないでいます。そのシールをあげて笑顔になってもらいたかったのに……。

こんな物は、あなたにとっては大した意味はないかもしれませんが、私にとってはそれぞれが大切な物なのです。

## ドアノブから手を離さない

ガザの旅で持ち歩いていたもの、聖書、そして、どこへ行くにも持ち歩いているドアノブを見ていると、パウロがコリント人への手紙第一で述べたように、すばらしく可能性に満ちた扉が開かれていることに気づきます。それは重々承知しています。このドアノブを手取るたびに、ノブから決して手を離してはならないことを思い出させてくれます。神様が、私たちをご自分の備えられた場所に導いてくださるなら、ためらうことはできません。私は、ただ神様が開いてくださったドアを通り抜けなければなりません。

そして、また昨年と同様に、長く、苦しく、大変な道のりだと知っていますが、今年は、私が 12 歳の時からずっと通らされてきた道のりに、何か大きなことが起こる年になるということがわかっています。今がその時です。私には、わかります！

メロは現在、毎週日曜学校に通う 50 万人以上の子どもたちに関わっていますが、これは誰もできるとは思っていませんでした。歴史上これまで一度もなかったことです。私た

ちは、さらにいくつかのアフリカの政府や、指導者、市長、そして、コネクションを持ちたいと祈ってきた人々から、多くを求められており、そして、今現実になりつつあります。

パレスチナ人スタッフのアフメド兄がハマスに殺害されたり、助けられると思ったメアリーが亡くなったこと、ガザで起きた出来事で私はまだとてもつらい気持ちですが、それでも先週と同じように、この日曜日にはまた説教しなければなりません。それが宣教を前進させるものなので、私は行かなければなりません。

## プロセスの目的

1960 年に私が座っていたあの街角で起こったすべてのこと、それ以来起こったすべてのこと、そして、この 1 年に起こったことと同じくらい困難なことのすべては、今ここに到達するためのプロセスであったことを私は知っています。私とメロの働きは、正直言って、人生でこのようなことが起こるとは想像もしなかったようなことが起こり、今それを目の当たりにしているのです。

皆さん全員にはその意味をご理解いただけないかもしれませんが、一部の方々にはお分かりだと思います。もしかすると、人生の出来事を振り返ると、辛くて乗り越えることができるのだろうかと思ったことがあるかもしれません。それでも、そのプロセスには、目的があるのです。

その目的により、今年、この時期、私たち全員が今いる場所にたどり着きました。もしかすると、私の「ありがとう」という言葉は聞き飽きているかもしれませんが、私はあえてそう言いたいのです。変化をもたらすために常に私たち全員が共に働いているからなのです。

## 彼から目を離さない

私がよく言うことの 1 つは、角を曲がった先に何があるのか誰にもわからないということです。しかし、主だけを見れば、角を曲がったところにあるものはわかります。それだけで十分です。

古い讃美歌にもあるように……。目をイエスに向け その御顔を見れば 栄光と恵みは照り 地のものは消え去る

私の目は今でも主に釘付けです。私の目は今、この先、私たちがどこへ向かっているのか、どの扉が開いているのか、そして、なぜ開いているのかを見つめています。目的に到達するにはプロセスが必要ですが、そのプロセスは必ずしも楽しいものではありません。ただし、ドアノブから手を離さないことをお勧めします。準備はできています。なぜなら、共に働けば、想像以上のことができるわかっているからです。

今年は、プロセスのすべてが私たちの生活の中でそれぞれの役割を果たします。私と同じように、目的を目指して、それに向けて励まされてまいりましょう。今年もその道を一緒に歩んで行きましょう。

改めて、明けましておめでとうございます。

ビル・ウィルソン

# 私たちはアフメドを失った

「ガザにいる子どもたちに与えられるただ一つの希望は、イエス様を救い主として知ることなんです。」 —アンドリュー&アフメド



安全上の理由から、メロが9年前にガザ地区で日曜学校を開始したことは公表していませんでしたので、ほとんどの方々にご存知ありません。ビル牧師は、次のように語っています。

「ユダヤ人のアンドリュー兄とパレスチナ人のアフメド兄は、自分たちの人生が福音によって変わった後、ガザでメロ日曜学校を始めさせてほしいと申し出てくれました。彼らは毎週末 1,000 人ほどの子どもたちを集めて日曜学校を開催すると共に、近くの難民キャンプにも足を延ばして子どもたちのための集会を持っていました。

昨年 10 月 12 日、アフメド兄が、日曜学校の場所でハマ

ス過激派によって殺害されたという悲しく、つらい知らせを受けました。

戦争の最中でも、子どもたちは集まり続け、それからの数週間は、隠れた場所で集まるようにしていました。パンが見つかって盗まれないために、焼きたてのパンと水を毎週イスラエルから密かに持ち込んでいました。そして、クリスマスの集会までに、参加する子どもたちの数は2倍以上に増えました。」

ガザのメロのチームのため、そしてガザやその他の世界中の地域で、戦争で心身ともに傷ついている子どもたちのために、どうか引き続きお祈りください。

## ウクライナの心

### 救出された子どもたちを家族の元に戻す

昨年6月に、戦争が始まって以来、約2万人のウクライナ人の子どもたちが誘拐されたという報告を受けました。子どもたちは、複数の場所に収容されており、そこで虐待され、拷問されている子どもさえいるということでした。現地からの連絡では、3つの異なる地域に 289 人、154 人、87 人の子どもたちがそれぞれ収容されていて、そこからできるだけ多くの子どもたちを救出したいので、支援してほしいということでした。

そこでビル牧師は、さっそくウクライナへ向かいました。現地のメロチームと、世界中の皆さんのような素晴らしい支援者の協力を得て、侵攻してきたロシア兵によって各地に捕らえられた子どもたちのグループを救出し、輸送

するための大型トラック3台の手配が行われました。

捕虜となっていたディマという少年は、舌を切り取られたために話すことができなくなってしまいました。救出された後、彼は紙袋を手に取り、指に泥をつけて、この小さなハートを描きました。彼は感謝の気持ちを表し、「愛している」という気持ちを伝える唯一の方法として、ビル牧師にそれを贈ったのです。

ウクライナの危機的状況の中にある子どもたちを助けるために、私たちと一緒に立ちあがっていただき、本当にありがとうございました！



## OHH オペレーションホリデーホープ

あなたのご支援が、子どもたちを変えました。

あなたのような素晴らしい友人の思いやりのおかげで、私たちは世界中で、570,548 人もの子どもたちにクリスマスの本当の意味を伝え、彼らが愛されていることを伝える特別なプレゼントをその集会に参加したすべての子どもに渡すことができました。

心から感謝申し上げます。

**Thank You!**

# でも、腹ペコなんだから



**アフリカの子どもたちを食料とイエス様で救う。**

ジャニー・ステラトスは、ケニアのメトロで12年近く、リーダーを務めています。現地の子どもたちが直面する最も重要な必要は、依然

として食べ物であると言います。

「つい最近、私は10歳の女の子の葬儀に出席しました。」ジャニーは言いました。「彼女の両親は、彼女の兄弟を病院に連れて行っていたのですが、彼らが帰宅すると、10歳の娘が戸口で首を吊っているのを発見しました。彼女は食べ物がないで命を絶ったのです。」

アフリカの学校では、メトロのスポンサーがいる子どもたちは、少なくとも1日に1回は栄養価の高い給食を食べることができます。しかし、スポンサーのいない子どもたちに何も食べるものが残らないのは、とてもつらいことです。ジャニーは、ある少女が「でも腹ペコなんだから」と何度も訴えていたのを聞いた記憶があります。しかし、何も残っていませんでした。

すでにほかの子どもたちが、鍋の底に残ったご飯のお焦げまでかき集めて食べてしまっていました。そのあと、ジャニーは、食べ物もらったばかりの男の子たちが歩いてきて、お腹を空かせて泣いている女の子に、ご飯を分けてあげるのを目撃しました。

「ニーズが圧倒的に多いと言っても、言い過ぎではありません」とジャニーは続けます。「これがケニアの日常です。しかし、選択肢は2つあります。留まるか、立ち去るかです。私はここに残ることを選びます。私たち全員がそうです。私たちはこの子どもたちに希望を与えなければなりません。子どもたちが飢えなくて済むように、より多くのメトロのスポンサーを募ることです。」

私たちは、パートナーとスポンサーのご協力によって、ケニアやアフリカの他のメトロの拠点で、より多くの子どもたちに命を救う食料を確実に届けることができます。

アフリカやその他の地域で、危機に瀕している子どもたちの緊急のニーズに応えるために、ケニアの子どもたちのご支援をご検討ください。いつもご支援くださっている皆様に感謝いたします！



# 日本事務所からの重要なお知らせとお願い

## ！ 現地ツアーを開催します！

皆様からのご要望にお応えして、今年もフィリピンツアーを開催することにいたしました。土日を使ったツアーですので、ご希望の方は今からお休みの調整をお願いいたします。今のところ関東方面発着の予定です。万代師が同行いたしますので、ぜひ参加をご検討ください。

詳細は、レポートの中にお書きしましたが、参加ご希望の場合は、サポートしていただいている子どもさんとの面会の手配がありますので、早めにお申し込みをお願いいたします。

フィリピン行きの航空券の予約後のキャンセルはキャンセル料がかかりますので、ご了承ください。予約前に確認のご連絡を申し上げます。

## ！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくをお願いいたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを立案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



## 2024年のキャンペーン！

先月もお知らせしましたが、年間を通して様々な企画を行いますので、ご参考にしてください。

- 2月:アメリカイスター(3月初旬締切)
  - 3月:フィリピン就学支援(4月下旬締切)
  - 4月:フィリピンツアー開催  
アメリカキャンプ支援(5月下旬締切)
  - 5月:フィリピンキャンプ支援(5月末締切)
  - 6月:アメリカ学用品支援(7月初旬締切)
  - 7月:ケニアキャンプ支援(8月下旬締切)
  - 8月:ケニアクリスマス支援(9月初旬締切)
  - 9月:アメリカ感謝祭(10月初旬締切)
  - 10月:ケニア就学支援(11月下旬締切)  
フィリピン&アメリカ・クリスマス(11月締切)
  - 11月:OHH(参加者全員へのクリスマスプレゼント)
- \*誕生日は、レポートに個別にご案内を入れます。



## 日本事務所よりごあいさつ！

寒さの厳しい地域にお住まいの方や被災地近辺にお住まいの方々もいらっしゃると思いますが、お元気でしょうか？ 私の教会では、キリスト災害支援会の働きもしておりますので、支援の必要な方がいらっしゃいましたらご一報ください。

メトロの働きは、様々な困難の中を通りながらも、確実に、そして、格段に成長を続けています。皆様の長年にわたるお祈りと忠実なご支援に心から感謝申し上げます。

スタッフは、日本人の私たちには想像もできないような過酷な状況の中で生活する子どもたちとその家族に日々向き合い、今の生活を支えるだけでなく、キリストの福音を伝え、子どもたちの将来を見据えて忍耐強く関わり、指導をしています。どうぞ、続けてお祈りください。

2月も皆様のご健康が守られ祝福された日々でありますようにとお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



## メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6  
橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛をお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン